

事業概要【さくらんぼ王国果樹産地活性化事業】

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	254,660千円 (174,508千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産（しごと創生）
目的・効果	・温暖化の影響による気候変動に対応する技術を導入し、果樹の安定生産を図る ・生産効率を高めるためスマート農業を活用し、生産性の高い果樹栽培を推進する ・担い手を確保するため樹園地継承データベースを活用し、園地継承を円滑に進める ・山形県産フルーツ及び果樹農業に関する情報発信を行い、消費者の理解醸成やブランド力の強化を行う						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○気候変動の影響に対応するための技術開発・検証 ・新型雨よけハウスの開発 7,857千円 ・高温対策に必要な資材・設備等の導入支援 82,000千円 ○スマート農業技術の導入推進 ・スマート農業技術開発や自立ロボット台車の実証 2,716千円 ○樹園地継承の推進 ・「樹園地データベース」システムの整備 969千円 ○県産フルーツ及び果樹農業への理解醸成 ・県産フルーツのPRを行うイベントの開催 50,009千円 ○さくらんぼのブランド力の強化 ・高品質安定生産や「やまがた紅王」のブランド確立の推進 14,629千円					 やまがた紅王 (大玉新品種)	 自動防除機 (スマート農機)

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県 事業推進主体		委託先等		連携市町村		
				役割	名称（関係性）	役割	名称（関係性）		委託内容	
生産技術導入推進、樹園地継承の推進										
1	気候変動の影響に対応するための技術開発・検証を実施 ・標高の高い地域でのさくらんぼ栽培の適応性について調査を行い、栽培適地の検討を行う ・生育診断調査や温暖化に対応した果樹の適応性調査を行う	報償費		・全体の進捗管理・統括 ・調査	(同左)					
		需用費								
		委託料				・全体の進捗管理	株式会社鈴商 （県からの委託）	・さくらんぼ改良型雨よけ施設の被覆収納		
		使用料				・全体の進捗管理・統括				
	樹園地継承の仕組みづくりを実施（試験運用） ・樹園地の出としての情報を公開する「樹園地継承データベース」システムを整備	委託料		・全体の進捗管理 ・関係者との調整	(同左)	民間企業（未定） （県からの委託）	・樹園地情報を入力することが可能なデータベースとホームページ自動作成システムを構築			
		役務費								
		使用料								
		需用費								
スマート農業を活用した未来型果樹栽培の推進										
2	スマート農業技術の導入を推進 ・自動灌水システム、補光装置の開発・実証をクラウドを活用して実施 ・自律ロボット台車、自動散布ロボットをレンタルして実証 ・さくらんぼＡＩ選果機の導入実用性を検討 ・さくらんぼ自動収穫ロボットの開発	報償費		・全体の統括業務	(同左)					
		需用費				・全体の進捗管理 ・調査、技術・品種開発				
		役務費				・全体の進捗管理 ・技術開発				
		賃借料				・全体の進捗管理 ・調査				
		委託料		・全体の統括業務	山形さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議	・プロジェクトの評価・検証	山形大学工学部 （県からの委託）	・さくらんぼ収穫ロボット試作機改良		
ブランドの確立と情報発信										
	県産フルーツ及び果樹農業への理解醸成による、流通販売の促進 ・県産フルーツの産地や楽しみ方をPRするイベントを開催	委託料		・全体の進捗管理	山形県さくらんぼ＆フルーツPR協議会	イベントの企画・運営	株式会社山形アドビューロ （PR協議会からの委託）	・会場の準備・撤去、式典の運営など		
		使用料				イベント会場の確保				
		役務費				イベントで使用する資材の発送等				
		需用費				イベントで使用する資材の購入等				
3	県産フルーツのプロモーションを強化するため、情報発信を実施 ・ポータルサイトや広告媒体などにより、県産フルーツをPRする情報発信	委託料		・全体の進捗管理	山形県さくらんぼ＆フルーツPR協議会	ポータルサイト・インスタグラムアカウントの運営	藤庄印刷株式会社 （PR協議会からの委託）	・ポータルサイトの維持管理・更新作業など		
		役務費				PR資材等の発送				
	さくらんぼの高品質安定生産、新品種の知名度向上によるブランド力強化 ・「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」を核として、さくらんぼの高品質安定生産、新品種「やまがた紅王」の生産拡大、知名度向上に取組み、「山形さくらんぼ」のブランド力強化	報償費		・全体の進捗管理・統括	(同左)					
		需用費				・全体の進捗管理 ・調査、技術開発				
		役務費				・全体の進捗管理・統括				
		使用料								

新技術の開発、生産技術導入推進							
4	気象災害を軽減するための新技術を開発 ・ 新型雨よけハウスを開発	工事請負費		・ 試験ハウスの設置 ・ 検証の進捗管理	(同左)		
	高温対策に必要な資材・設備等の導入を支援 ・ 高温対策資材・設備等を導入する農業者団体、農業法人への支援	補助金	農業者団体 農業者法人 農協等	・ 全体の統括業務 ・ 市町村との調整業務			
スマート技術の開発							
5	スマート技術を果樹園に導入し、効果を検証 ・ 補光装置、自動かん水システム、適期収穫モニタリングを導入し、現場実態での運用について検証を実施	備品購入費		・ 装置の試験導入 ・ 検証試験の実施	(同左)		
		工事請負費					